

アゼルバイジャン石油労働者中央病院に対する医療機材の引渡し式

2025年5月7日、渡辺大使は、アゼルバイジャン石油労働者中央病院に対する医療機材の引渡し式に出席しました。本案件は、日本国政府の無償資金協力プログラムである経済社会開発計画によるもので、同病院に対し、血液アンギオグラフィ装置、移動式X線撮影装置及び可搬型超音波画像診断装置が整備されました。引渡し式には、ザウル・アリエフ国家強制健康保険庁長官、ブガル・グルバノフ TABIB 長官、及びムサ・アバソフ石油労働者中央病院院長ほか関係者が出席しました。

石油労働者中央病院は、石油生産を基幹産業とするアゼルバイジャンにおいて、高温・高圧や化学物質への被ばくといった過酷な環境での操業に従事する石油労働者の健康を守るための中核的医療機関として設立されたアゼルバイジャンでも有数の高度医療機関です。

本案件の実施を通じ、アゼルバイジャンの独立以来、日本とアゼルバイジャンが様々な分野において築き上げてきた友好関係と緊密な協力関係がより一層深化することが期待されます。

